

医療従事者向け グリーフケア講座  
～今、死別を経験する人たちに、医療者ができること～  
(2022年5月31日(火)開催)

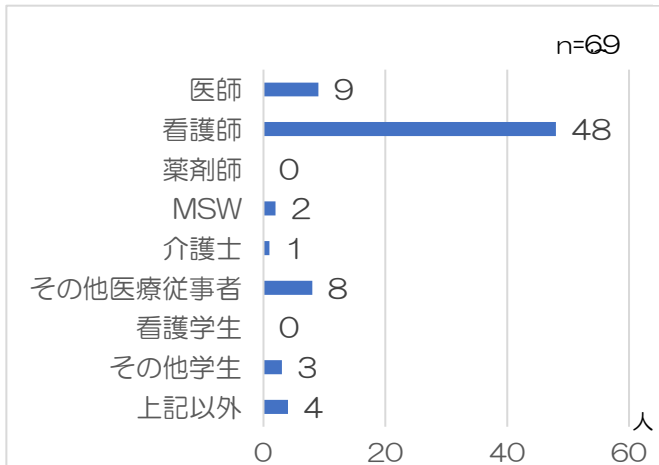
アンケート結果のご報告

2022年5月31日に認定NPO法人キャンサーネットジャパン主催、一般社団法人リヴオン共催にて、オンラインで開催いたしました「医療従事者向け グリーフケア講座～今、死別を経験する人たちに、医療者ができること～」のアンケート結果をご報告申し上げます。

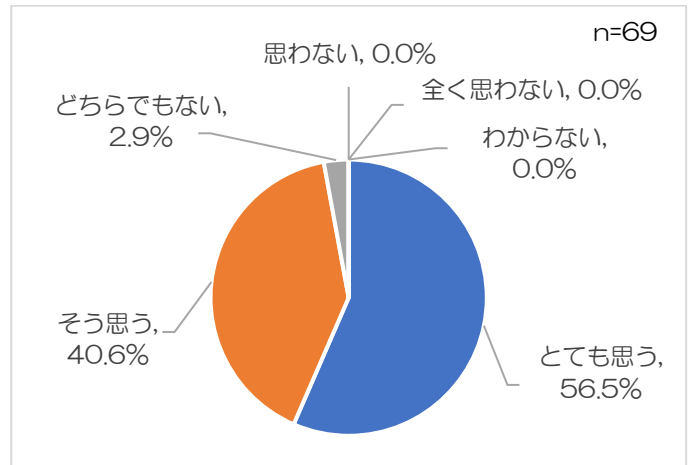
97名の方から事前のお申込みをいただき、当日は86名の方にご参加いただきました。また、69名の方にアンケートにご協力いただきました。

大変多くのご意見、ご感想をいただき感謝申し上げます。今後の活動の参考にさせていただきます。なお、こちらには、アンケートにて「お名前とともに公開可」「匿名であれば可」とご回答くださった方々のご意見、ご感想を抜粋し掲載しております。

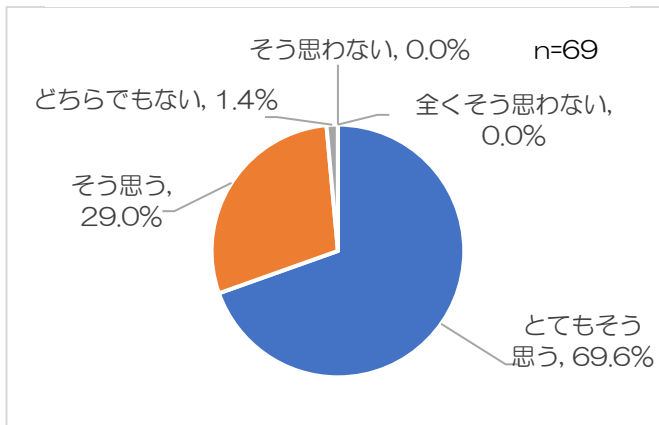
職種 (複数回答可)



同僚やご友人などにこの講座を薦めたいと思われませんか



今回の講座は期待したものに合っていた



左の回答理由

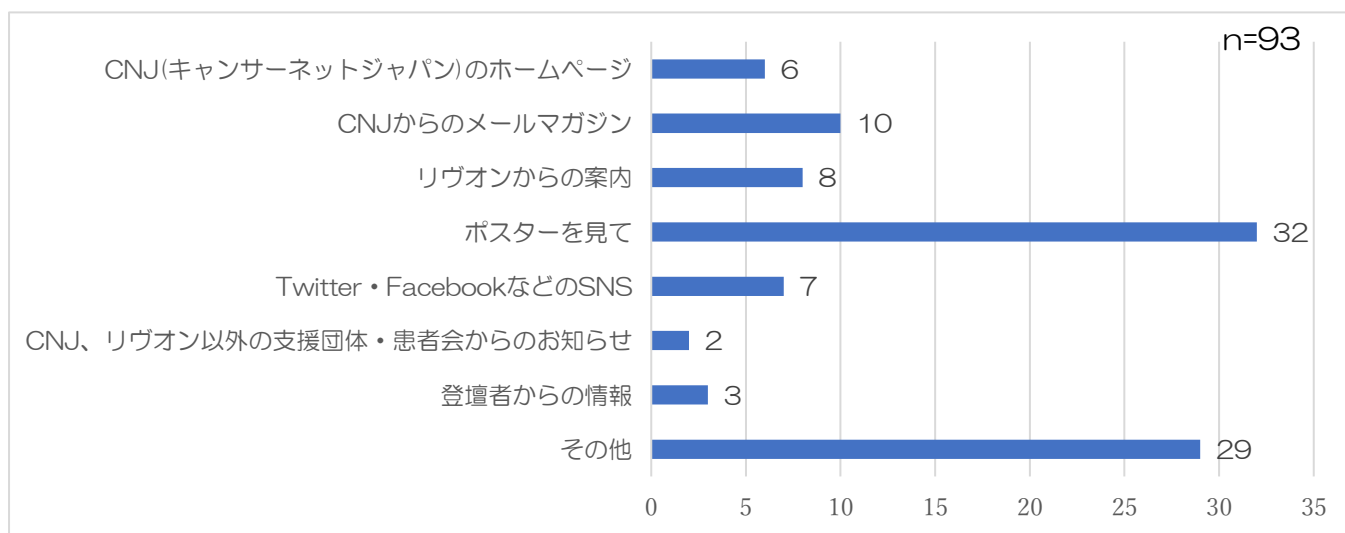
<とてもそう思う>

- ・グリーフケアについて基礎を学んだことがなかったので、考え方、捉え方などヒントをたくさんもらえました。自分のケアも大切だということも励みになりました。
- ・病棟にもどって還元できる内容でした
- ・医療者だからこそ出来るグリーフケア、現状で足りていないが求められていること、その中での医療者自身の傷つきへのお話、その対処法まで、医療者に特化しながら広い範囲のお話が聞けたこと。

<そう思う>

- ・患者さんとともにありたいと思う多くの人といることができたから。
- ・グリーフケアのみを取り上げる研修は多くないため、非常に良い機会でした。
- ・実際に自分自身の過去と向き合う事が出来たことや参加者の方がどのようにグリーフケアを行っていたかなどを知ることが出来ました。

### 【事前アンケートより】どこでこの講座をお知りになりましたか。(複数回答可)



#### 全体的な進め方についてご意見や、ご要望などあればお聞かせください

- ・ 自分もみつめるとても貴重な機会になりました。勤務後での参加でしたが、進行がちょうどよく無理なく参加することができました。
- ・ ズームのすすめかた、使いこなし方、やりとりが卓越しており、本当に素晴らしかった。いままでのズームでの勉強会のなかで一番よかった。司会進行もさすがプロだと思いました。
- ・ 講義とワークは今回ぐらいが、ちょうど良いと思いましたが、差し支えない参加者間で自己紹介や SNS などのつながりがもてるならば、その時間があればと思いました。職場にはグリーフに関心のある者が少なく、参加者間のつながることができれば、情報交換や日々の大きな励みにもなります。

#### プレ講座を受けてみたことで、今後やってみようと思ったこと、始めてみようと思ったことがあればお聞かせください。

- ・ プレ講座を踏まえて仕事をしてある程度期間がたってから再度学びたいと思う。
- ・ どんな感情を持ってても間違いではないことは言葉にして伝えてあげたい
- ・ 病棟でのグリーフケアチームを作り始めたいです

#### その他、全体的な感想や、今後に向けたご意見やご要望などお聞かせください

- ・ 自分自身、グリーフケアで何かをしたい…という気持ちが空回りし、今何が起きているかの評価、から問題解決型の行動をとることが多いように感じています。知識がついても、自分の行動や態度が大丈夫なのか？と気にかかります。沢山のワークを行うことで自分の態度や行動がより良いものになっていく講座を望みます。
- ・ 今回の研修のテーマは今後、為になる講座でありました。いろんな職種の講師を迎えた講義も聞いてみたいと思います。グリーフの影響は多岐にわたる、心身に起こる変化もあり、症例を用いた講義も聞きたい
- ・ 自分自身の看護観を振り返ることができました。これまで経験してきた患者さんとの別れ、ご家族との関わりについて考える時間となりました。グループで話し合うことによりそれぞれのグリーフを知ることができ、それが私にとってとても貴重な時間となりました。
- ・ 終わった後とても気持ちが楽になりました

<いただいたご意見の一覧は次ページよりご覧ください>

「今回の講座は期待したものに合っていた」で回答したその理由を教えてください

<とてもそう思う>

- グリーフについて自分の中でなんであるか落とし込めた講義であった。
- 私が zoom 機能に不慣れなため、途中参加になってしまいましたが、講義や、みなさんのチャット機能では現場の意見がきけて、勉強になったから。
- 自分が自分の思いに向き合える時間になりました
- 自分が普段していることで、それでいいんだと思えた
- とてもわかりやすかったです
- 気持ちを共有できたから
- グリーフケアについて、看護師としての在りかたについて初心にかえれた気がしました。
- グリーフケアを学びたかったので、いい勉強をさせていただきました
- リヴオンを知っていたため。岩瀬先生のお話もとてもよかったです。
- 皆さんのお話を聞くことで、癒されました。ありがとうございました。
- 以前学んだことの再確認ができました。
- グリーフケアについて再度考えることができた
- グリーフ、グリーフケアに関しての考え方を洗練できたこと、グループメンバーとの対話が貴重な体験だった。
- グリーフケアの考え方を聞いて納得した
- 悩んでいたことと同じ方向の内容でした
- グリーフとは何か、実はあまりわかってなかったことに気づき、講演を通して理解を深めることができました。
- 質問の多さ 感想の多さ
- 他の方の感じ方も理解でき、グリーフについてわかった
- グリーフケアのとらえ方、看護師としてどのようにグリーフに向き合っていく事が必要な学ぶことが出来たため
- 様々な立場の方のグリーフ体験談を聞け、グリーフの深さを感じました。
- グリーフケアについて基礎を学んだことがなかったので、考え方、捉え方などヒントをたくさんもらえました。自分のケアも大切だということもとても励みになりました。
- モヤモヤに気づくことができました。
- この研修が自分のグリーフケアになりました。
- コロナ病棟での看取りをたくさん経験して、もっと何かできたのではないかと後悔が強く残っています。その後悔が少し和らぎ肯定できる気持ちになりました。具体的に何ができたか、何が出来るのかまだ分かりませんが、ありのままに患者さんやご家族の話を聞くこと、自分の気持ちへ耳を傾けることから始めたいと思います。
- グリーフケアの重要性について、何がグリーフなのか理解が深まりました
- グリーフは人それぞれであり、それを受け入れることが大切と学んだ
- グリーフケアへの向き合い方に不安を持ちながら仕事をしているスタッフがいることが分かったから。
- ご経験からの事例やわかりやすい言葉で自分自身も振り返ることができました。私が緩和に興味を持った、もっとしてあげたかったのにと感じたきっかけとなった患者様のことを思い出しました。我慢しても泣いてしまうことが多かったのですが、それも自然なことだと思うことができ少し心が軽くなりました。
- グリーフに関する実践について皆さまの工夫を教えてくださいととても勉強になりました。また自分自身のグリーフとの向き合い方についても勉強になりました。グリーフにまつわるいろんな感情や困りごとについて、皆さんも感じておられることがわかり、それだけでも癒された感覚があります。
- 職場でのデスカンファレンスの方法についてヒントをいただくことができた

- 先人が積み重ねてきたグリーフについての知見と、ひとりの人としての実体験を交えたお話が胸に沁みました。こんなに胸に届く形で、ひとつひとつの言葉がそっと置かれ、聴いている側が必要な言葉を携えていけるような講義は稀有だと感じました。
- 初めてグリーフケアについて基本の部分から聞けて、学ぶことがとても多くありました
- 自分のいろいろな体験が思い出され、体験と重ね合わせながら参加をすることができました。忘れてしまっていたことを思い出したり、そういうことだったのかと納得したり、頭はフル回転でした。
- ワークが効果的（学びを深めた）と思えた。最後の質疑応答もよかったです。行動できる…かな？
- 医療者だからこそ出来るグリーフケア、現状で足りていないが求められていること、その中で医療者自身の傷つきへのお話、その対処法まで、医療者に特化しながら広い範囲のお話が聞けたこと。特に医療者自身のグリーフケア、グリーフワークは今後自分のテーマとしていきたいこともあり、気持ちを共有するカンファレンスと、何が出来たかをふりかえるカンファレンスをわけるなどの具体的なお話なども聞けて、貴重な時間をいただいたと思います。
- 事業所でグリーフケアを取り組むヒントをもらった。
- 自分が大切にしてきた看護を振り返ることができました
- 緩和ケア病棟では1年に1回 グリーフケアのお茶会に1回だけ参加したことがあったが、何もわからないまま、訪問看護に移動になり、関わりが少なくなった事、コロナかでのグリーフケアを学びたいと思い、資料で勉強する事がなかったので、わかりやすかったです。
- 本当に参考になる話ばかりでした。自分自身の思いにも重なるところが大きかったです。
- 様々なグリーフについて知り、考える機会になったから
- 病棟にもどって還元できる内容でした
- グリーフケアの観点が変わりました。
- 今後の活動の示唆が得られました。また感動しました。

### <そう思う>

- 自身のグリーフについて考える機会になった
- 尾角さん、岩瀬先生のお話は、期待以上のものを感じさせていただけました
- 今までグリーフについて学ぶ機会がなかったので
- 実際に自分自身の過去と向き合う事が出来たことや参加者の方がどのようにグリーフケアを行っていたかなどを知ることが出来ました。
- グリーフケアのみを取り上げる研修は多くないため、非常に良い機会でした。
- テーマに沿っていたから。
- グリーフケアに対しどこか扱いづらく避けていたところがあったが、グリーフは当たり前の反応であること、医療者として共感的態度や情報提供が大事であることを学べて、今後の看護に生かしていきたいと思った。
- 現在外来のため
- 患者さんとともにありたいと思う多くの人といることができたから。
- グリーフケアが少し分りました。
- 遺族サイドの思いなどを聞くことができた
- グリーフケアという言葉しか知らないでいました。自分の中のグリーフを思い出し、改めて気づいた気持ちとか、グリーフケアの考え方に関心を持つことが出来ました。
- 内容は大体調べていたので理解していたが、更に経験談を各々お持ちだったため、より分かりやすかったです。
- グリーフケアでできることをみんなで共有できた。
- グリーフケアについて深く知ることができた。グループワークの際にもっといろいろな人の考えを知りたかった。

私のところは3人だったため二人の方としかお話ができなかった。

- 共感できることが多かった

### <どちらでもない>

- もっと基礎からのお話かと思ったため。

### 全体的な進め方についてご意見や、ご要望などあればお聞かせください

- 交流時間がもう少しあればもっと周りの方の意見が聞けたかなと思います
- 非常に濃密な内容で、もっと時間があっても良かったと思いました。
- 100名近くの参加者を全体講義、small meeting にうまく振り分けられ、運営面でも参考になりました
- 適切だったと思います。
- ★の方が多かったかな・・・
- 共感の意見もひろう時間的余裕があるとさらに深まりますね
- 平日、夜間の長めの研修が少し、辛いです。受講をためらいました。
- 平日夜、顔出し無くてよし、ルーム入ってもよし、途中出てもよし。ゆっくり参加できました。
- このような交流型の講座も良いと思いました。
- 短い時間にも関わらず盛り沢山の濃厚な講義でした。グループでのトーク、緊張しましたが楽しかったです。
- 自分もみつめるととても貴重な機会になりました。勤務後での参加でしたが、進捗がちょうどよく無理なく参加することができました。
- 金曜日の夜がありがたい。
- 聞くだけでしたが、とても勉強になりました。
- 土日開催頂ければ落ち着いて聞けそうです
- ズームのすすめかた、使いこなし方、やりとりが卓越しており、本当に素晴らしかった。いままでのズームでの勉強会のなかで一番よかった。司会進行もさすがプロだと思いました。
- 最後の質疑応答の時間が長いとよかった？ありがとうございました。
- 今回は交流の機会をいただいたにも関わらず耳だけの参加になってしまったのですが、とても素晴らしい構成と思いました。次回同様の機会を頂けたら、しっかりスケジュールを調整して交流パートも参加したいと思いました。
- 参加前は長時間だなと思っていたのですが、参加するとあっという間でした。聴き、共有して、そして丁寧に閉じる(結ぶ)作業をさせて頂けることにも感謝です。
- 先ずは資料を事前にダウンロード出来ることを知りませんでした。必死で書き留めましたが、私の情報不足でした。内容はとてもためになりました。自分が書いたノートを読み直してみます。有難うございました。
- グループで話し合えて、いろいろ聞けたことがとても良かった。
- 仕事の日でも負担なく参加しやすい時間帯で良かったです。講座もほかの参加者のご意見が聞けたのはとても良かったです。もっとゆっくりと話ができる時間もあるといいなと思いました。
- 講義とワークは今回ぐらいが、ちょうど良いと思いましたが、差し支えない参加者間で自己紹介や SNS などのつながりがもてるならば、その時間があればと思いました。職場にはグリーフに関心のある者が少なく、参加者間のつながることができれば、情報交換や日々の大きな励みにもなります。
- 開催の時期や、休憩の取り方は良いと思います。曜日、時間については、週末の昼間。休みがとりやすい。今回、24時間待機という中で、参加し、電話が、夜間もなりっぱなしの中、緊急訪問があるかもしれないとおもいながら、聞いていたので、集中ができず交流については、ビデオ、ミュートは OFF にさせてもらいました。

プレ講座を受けてみたことで、今後やってみようと思ったこと、始めてみようと思ったことがあればお聞かせください。

- ・ 情報提供
- ・ どれをすればいいか纏まっていません
- ・ 今後の講座が楽しみです
- ・ 皆で共有したい
- ・ 書き込み式のグリーンワークを使ってみたい
- ・ 勤務先内での振り返りの機会、範囲を拡大する
- ・ 院内多職種と共有したいと思います
- ・ この資料を差し支えなければ病棟にも渡して、情報共有をしたいです
- ・ 大切に、真剣に聞くということについて今後の患者さんの対応に生かしたい
- ・ 自分にできることから少しずつ、グリーンケアを実践していきたいと考えます
- ・ プレ講座を踏まえて仕事をしてある程度期間がたってから再度学びたいと思う。
- ・ 自身のグリーンフに向き合いながら、自身と周囲の人たちを大切にしていきたいと思います。
- ・ 地域で広めていきたい
- ・ 数年後に緩和ケア病棟でガンリハをしたいと思っているため実際に患者様と関わる際に実践していきたいと思いました。
- ・ 本講座、良いものにする
- ・ 今向き合っている患者様により丁寧に関わる。悲嘆の中にいる方に寄り添う
- ・ グリーンケアは、患者・家族のみならず、医療従事者にとっても大切なことであると体感しました。
- ・ 自分をわかる
- ・ すこしずつふりかえる
- ・ 患者さん家族と対話する、若いスタッフの困難も相談にのっていく
- ・ 患者さんの支えになりたいと思うとき、いったい自分は何者なのかを考えたい。自分は自分の両親が亡くなったとしても（まだ生きている）きっと悲しまないと思う。
- ・ 患者さんのご家族にもっと寄り添ってきたいと思いました。
- ・ まず今を…患者さんが存在している今出来ることをしたいと思います。
- ・ 患者家族の相談に活かしたい
- ・ その人にあった寄り添いを行う。
- ・ デスカンファレンスの定着・自身のグリーンケアを大切にする！！
- ・ 在宅医療。ACP から始まるグリーンケア
- ・ ターミナルの利用者さんとの接し方について、もっと素直に感情を表現してよいと感じた
- ・ 死についての学習
- ・ 現場にいつもあるグリーンフに慣れないこと、丁寧に心を遣い、そしてセルフケアを忘れずに。
- ・ 亡くなられた後のご遺族に連絡をとっていききたいと思います
- ・ 共に生きること
- ・ 環境を大切にすること
- ・ 今は、医療現場ではなく、看護師を育てる立場にあるので、少しでも学生に伝えられたらいいなと思いますし、学生のグリーンフを感じる事がよくあり、そこでの対応に活かしたいです。まずは、聴くことから始めます。
- ・ 今回の講座で学んだことを周りに共有する。また、モヤモヤに対して振り返る時間を作る
- ・ 少しずつ、振り返りの時間（カンファ）をもつ。安全な環境下で。／その人のグリーンフを知って考える、沿って

いくということに向き合いたい、時間をかけたい。

- 流産、死産された方へのケアの提供を自治体と共同してやりたい。医療者自身のグリーフケア、グリーフワークについて考えていきたい。(コロナクラスターの経験から)
- コロナ禍で、面会制限、付き添い制限がある中、在宅でのお看取りが増えてきているのが現状。看取りを希望している患者さん、家族はどう思うか、意見が違ふこともよくあることで、最後まで、家で過ごされ、救急車で搬送されることも多いです。その中で、よく言われるのが、まだ自分は死なない、大丈夫とっていて、こちらから、やりたいこと、思い残すことないか、気分いい日は、外出できるといいですね。というと患者さんから怒られたり、拒否されたりです。家族には、早めの対応で、覚悟のある家族であれば、看取りのパンフレットで説明ができる様、提案したい。家族訪問は、1度上司についていったことがあります、何件か自分の受け持ちのところにお線香あげにいきたいとおもった事があったが、コロナ禍で行けなくなったので、手紙を積極的に、書かせてもらおうと思った。タイミングとしては、どのくらいがいいのかわかりませんが、病院に家族が、精算と挨拶にこられる家族もいるので、そのタイミングで、請求書にお手紙を挟めてます。日がたたないうちに、こられる方もいっぱいいて、まだ、悲しみがとけないまま、涙されながら来られているので、言葉がみつからない。また受付での挨拶になるので、個室とか、落ち着いた話せる場所の提案を病院側にもうけてほしいと思ったとこです。今回学んだことを、院内勉強会でロールプレイをして、共有できるチームづくりをしたいと思います。
- どんな感情を持ってても間違いではないことは言葉にして伝えてあげたい
- 自分を大切にする
- 共感する時間をもつ
- 病棟でのグリーフケアチームを作り始めたいです
- グリーフケアをもっと学びたいと思いました。また自施設でも拡げていけるようなシステム開発ができればと考えております。

## その他、全体的なご感想や、今後に向けたご意見やご要望などお聞かせください

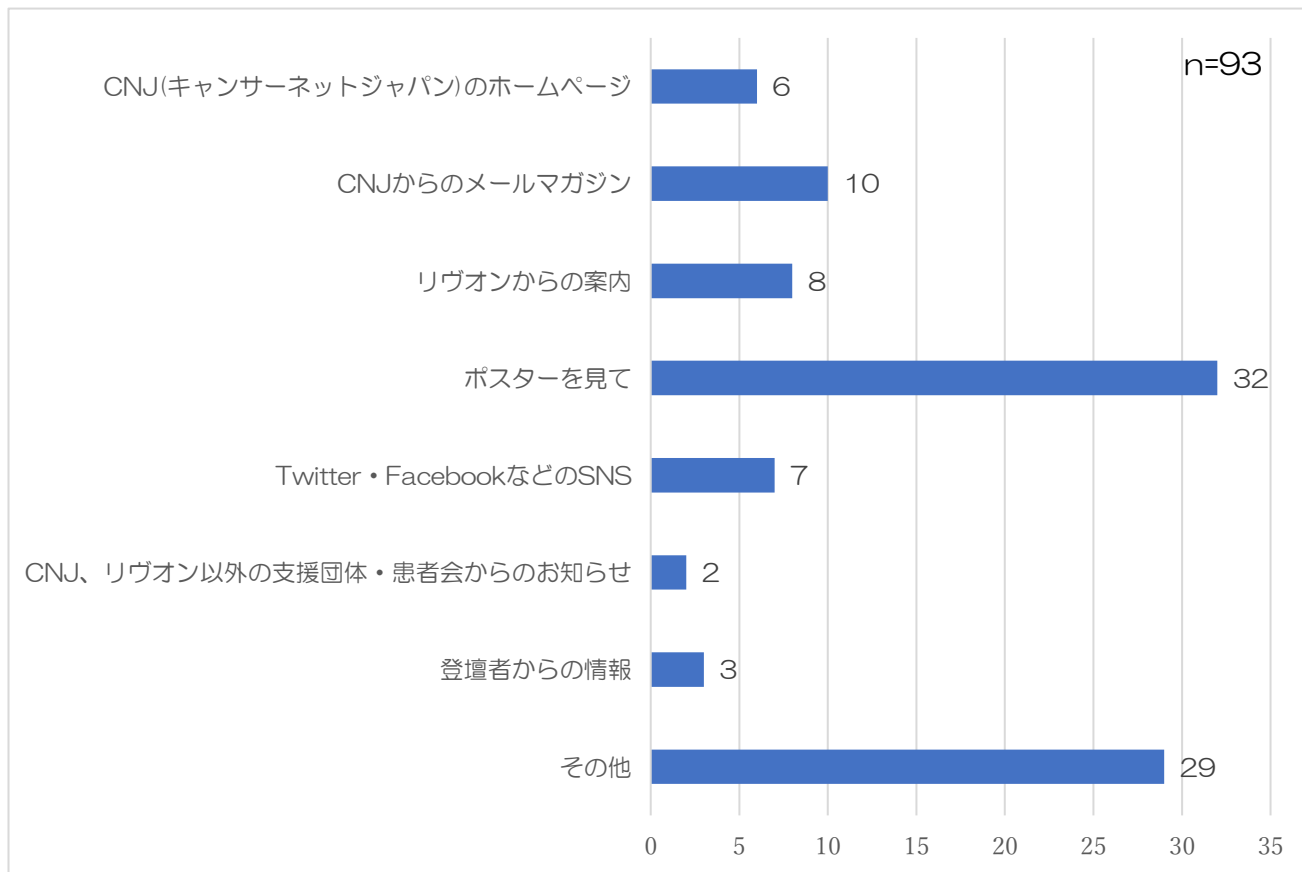
- グリーフケアの実践や具体的な内容
- 次回も機会があれば参加させていただきます
- 連続講座があるといいです。具体的には言えないのですが。
- 貴重な機会をありがとうございます。私自身、グリーフの話を学生や看護師に講義することが多いので、今回の学びをぜひ参考にさせていただきます。
- 対面でできるといいなと思います。
- 終わった後とても気持ちが楽になりました
- 緩和病棟でのグリーフケアについて、学びたいです。(私の病棟は輸血実施の関係で緩和病棟に行けない患者さんがいるので)
- 様々な学びをしたいです
- シリーズ化してほしい
- 眼をそむけなくなるテーマのひとつではありますが、大切なこと。無知だと怖いけれど知るとまた深くかわかれる
- 在宅での看取りと、残された家族のグリーフケア
- どのくらい商売に結びつくのか?
- 医療者同士のグリーフワークについて
- またこのような講座に参加したいです。もっと深くグリーフケアについて学びたい。グリーフケアで具体的に医療者が行っていることは何か知りたい。

- いろいろなグリーフケアの取り組みがなされていると思いますので、実践についても話を聴く機会があるといいなと思いました。
- 質問出来ていなかったことを質問させていただきます。死に直面する本人や家族（告知直後や、死期がすぐそこまで来てる方など）に対してどのように一番最初言葉をかけたらよいのかわからないです。正解がないことも分かっていますが、悲しみを感じられている方に対してなんと声をかけたらよいのか。いつも迷い、うまく話しかけれない自分が嫌になってしまうこともあります。
- 自分自身、グリーフケアで何かをしたい…という気持ちが空回りし、今何が起きているかの評価、から問題解決型の行動をとることが多いように感じています。知識がついても、自分の行動や態度が大丈夫なのか？と気にかかります。沢山のワークが出来たら、自分の態度や行動がより良いものになっていく講座を望みます。
- 少し紹介されてましたが、海外の医療従事者向けのグリーフワークなどについての情報が学びたいと思いました。
- 自分自身の看護観を振り返ることができました。これまで経験してきた患者さんとの別れ、ご家族との関わりについて考える時間となりました。グループで話し合うことによりそれぞれのグリーフを知ることができ、それが私にとってとても貴重な時間となりました。
- 今回の研修のテーマは今後、為になる講座でありました。いろんな職種の講師を迎えた講義も聞いてみたいと思います。グリーフの影響は多岐にわたる、心身に起こる変化もあり、症例を用いた講義も聞きたい
- 傾聴。がん哲学。
- 岩瀬先生がどのように活動されているのか知りたいです。病院でどのように拮げていけるか、またどのようなことが必要なのか知りたいです。



【事前アンケートより】

どこでこの講座をお知りになりましたか。（複数回答可）



（その他）

上司からのお知らせ、知人からのメール、職場の上司から、職場からの案内を見て、PR TIMES、新潟県立がんセンターの案内、緩和ケア病棟看護課長より、職場より情報提供があったため、院内の情報、病棟申し送りノートにて、CNJさんから案内メールを頂きました、友人から紹介があった、がんリハをされている先生からの紹介、サバイバーぴあナースの会からの案内メール、PRPP、病棟内の研修ファイルに入っていた、勤務先の病院からの通知、病院看護部に案内が届いて、勤務先、病棟師長からの声かけ、職場の医師の情報提供、会社の同僚の看護師から進められた、Peatix でたまたま目にしました、院内の看護部からの案内